



鳥越弘願寺



大国主神社辺りの平坦部はオヤシキと呼ばれている

所在地：石川県河北郡津幡町鳥越

立地：丘陵先端、主郭標高34m

城主：一向一揆

時期：室町、戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

笠野盆地北西の丘陵先端に立地する加賀一向一揆の大坊主の拠点跡である。北加賀にあって越中と能登に通じる街道の要衝に位置し、東方の県境にアザミ谷砦、南方に富田城、西方に鳥越城、北方に吉倉光楽寺砦を笠野盆地の各進入路に築城して、信仰と軍事的性格を兼ね備えた城郭寺院の防衛網を構築している。



ダイモン（大手口）

開墾や宅地化により正確な規模は把握できないが、大国主神社の辺りが通称「オヤシキ」と呼ばれている主郭部で、境内に室町時代中期の宝塔が残っている。その主郭部を南側土塁と通称「ニシノドイ」と呼ばれる西側土塁、北側の自然丘陵が三方を囲んでいる。聖福寺の背後（北側）に残る自然丘陵はかつて北側に伸びていたと考えられ、四方を土塁に囲まれた堅固な軍事施設であったことも想像される。大手口と推定される「ダイモン」、大手櫓台と推定される「ゴボウヤマ」、大手前の堀跡と推定される「ツツミダ」という城郭寺院に關係する小字名も伝えられている。



土塁西南隅（横矢掛け）から大手口方向を望む

弘願寺は貞享2年（1685）の「寺社由緒書上」には、観応元年（1350）に玄頓の開創と伝えている。天正8年（1580）、加賀制圧をめざす織田方の佐久間盛政に攻められ焼亡したと伝えている。



主郭南側土塁



南側土塁の巨樹、県内三位のアテと県内二位のハリギリも有名



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>